

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和6年度 第2回 相模原市下水道事業審議会				
事務局 (担当課)		下水道経営課 電話042-707-1840(直通)				
開催日時		令和6年9月6日(金)				
出席者	委員	12人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	14人(土木部長、下水道経営課長、下水道料金課長、下水道保全課長、下水道整備課長、津久井下水道事務所長 他9名)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
議 題		<p>議題</p> <p style="padding-left: 2em;">会長及び副会長の選出について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 下水道事業の概要について</p> <p>(2) 第2次相模原市下水道ビジョンの改定について</p> <p>(3) 基本水量制を含めた下水道使用料体系の見直しの進め方について</p> <p>(4) 公共下水道管路施設の維持管理に係る公民連携について</p> <p>(5) 能登半島地震における派遣活動について</p>				

事務局から、「別紙1 附属機関の設置に関する条例（抜粋）」及び「別紙2 相模原市下水道事業審議会規則」に基づいて、下水道事業審議会の設置目的、委員の任期及び委員構成等について説明を行った。

議題 会長及び副会長の選出について、篠崎委員から、会長を広田委員、副会長を篠崎委員とすることが提案され、承認された。主な意見は次のとおり。

（篠崎委員）

昨年度から継続して委員となられた方からの選出が良いと考えている。引き続き、副会長を私が行いたい。新会長は、前会長と同じ学識経験者の武蔵大学経済学部の広田委員が良いと考える。この場にいない方の会長就任の提案となるが、事務局は広田委員から本件について、何か伺っているか。

（事務局）

本日不在の広田委員は、現在、武蔵大学の特別研究員制度を利用し、海外で来年の1月頃まで研究に専念される予定である。広田委員からは、広田委員ご自身が会長となることも含めて、事務局へ一任されている。

（篠崎委員）

それでは、改めて新会長を広田委員、副会長を私とすることを提案する。
《異議等なし》

（事務局）

異議なしのため、新会長を広田委員、副会長を篠崎委員にお願いします。

事務局から、報告事項（1）下水道事業の概要についての説明が行われ、質疑応答が行われた。

（佐々木委員）

市が行う下水道事業に、単独処理浄化槽やくみ取便所は含まれていないという認識で良いか。また、市全体でどのくらい該当があるか。

（津久井下水道事務所長）

ダム集水区域よりも下流の地域は、既存の単独処理浄化槽又はくみ取便所から合併処理浄化槽に変更する場合には、一定の条件が整えばその変更の一部を補助している。また、その割合は市行政人口の2～3%程度が該当する。

（佐々木委員）

公共下水道事業、農業集落排水事業及び高度処理型浄化槽事業における下水道使用者の負担率は、同じであることが望ましいと考えるが、どのようになっているか。

(下水道料金課長)

3事業とも下水道使用料の負担率は同じである。

(赤尾委員)

資料1-1のP4「相模川流域下水道事業負担金」について、市町の負担率は計画汚水量の比率で定められている旨の記載があるが、これはP2「下水道基本計画」の計画処理人口等を基に算出するという認識で良いか。同様に、施設の維持管理に要する費用は、発生活水量の比率によって負担額が定められている旨の記載があるが、発生活水量の計測方法を教えていただきたい。

(事務局)

計画汚水量の算出根拠は、お見込みのとおりである。

発生活水量は、市下水道管から流域幹線に接続する場所へ設置された流量計で計測を行っている。

(大谷委員)

資料1-1のP7「収入の用途」の「その他収益的収入0.1%」及び「その他資本的収入0.1%」について、こういった収入があるか教えていただきたい。

(事務局)

その他収益的収入には、下水道用地を目的外で貸し出す際の賃借料や消費税の還付金が、その他資本的収入には、下水道事業として道路工事を行った際に一般会計から得られる道路工事費用等がある。

(大谷委員)

下水道用地の賃借料という話があったが、下水道事業の収入増加策として、雨水調整池を企業に貸し出したりといったような資産を活用するという視点も大事だと考える。

事務局から、報告事項(2)第2次相模原市下水道ビジョンの改定についての説明が行われ、質疑応答が行われた。

(佐々木委員)

第2次下水道ビジョンは、令和2年度から令和11年度までの計画となっているが、以降の計画はどのようにするのか。

(事務局)

令和12年度以降の計画を策定予定である。

(佐々木委員)

資料2の「6.重点施策・具体的な取組」について、最終目標値がパーセントで標記されているが、実際に冊子を作成する際は、従前の達成率を併記した方が良いと考える。もともと高い達成率であったものが100%になるのと、低い達成率が100%になるのでは意味合いが違うと考える。

(土木部長)

参考資料1のP34やP35にあるとおり、中間見直し年度(令和6年度)の実績値を併記する予定である。

事務局から、報告事項(3)基本水量制を含めた下水道使用料体系の見直しの進め方についての説明が行われた。

委員からの意見なし

事務局から、報告事項(4)公共下水道管路施設の維持管理に係る公民連携についての説明が行われ、質疑応答が行われた。

(篠崎副会長)

維持管理に係る複数業務をパッケージ化し、複数年契約で実施するということが、発注エリアを2分割するという考え方に変更はないか。

(下水道保全課長)

緑区と中央区を一つの発注、南区のみを別発注として、2つの契約を発注する予定である。2つのエリアの維持管理を別業者が行うことにより、競争性が確保され、様々なアイデアが生まれることを期待している。

事務局から、報告事項(5)能登半島地震における派遣活動についての説明が行われた。

委員からの意見なし

その他として、事務局から柳島水再生センターの視察が提案され、視察に行くことが承認された。日程や集合方法等は、後日事務局からメール又は郵送等で調整を行うこととした。

以 上

相模原市下水道事業審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	宮野 善三郎	相模原市自治会連合会(緑区)		出席
2	割柏 秀規	相模原市自治会連合会 (中央区)		出席
3	森 逸雄	相模原市自治会連合会(南区)		欠席
4	うちやま 内山 まさゆき 雅之	相模原市農業協同組合		出席
5	しのざき 篠崎 えいじ 栄治	相模原商工会議所	副会長	出席
6	ふくはら 福原 のぶひろ 信広	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら		出席
7	おちあい 落合 ひでお 英雄	さがみはら消費者の会		出席
8	やまだ 山田 ひでのぶ 秀信	相模原の環境をよくする会		出席
9	あおやま 青山 みつお 光男	公益財団法人 神奈川県下水道公社		出席
10	いしだ 石田 みつなり 三成	東洋大学 経済学部 准教授		欠席
11	ひろた 広田 はるあき 啓朗	武蔵大学 経済学部 教授	会長	欠席
12	うすい 碓井 あつこ 敦子	碓井公認会計士事務所		出席
13	あかお 赤尾 つねひろ 恒博	公募委員		出席
14	ささき 佐々木 とおる 徹	公募委員		出席
15	おおたに 大谷 ひでひさ 英久	公募委員		出席